

2020年11月 1日 主日礼拝

司式：齋藤長老

奏楽：村上

*以下、太文字の言葉はみんなで声を合わせます。

《神のみ前に近づく》

前奏
序詞 (ヴォタム)

わたしたちの助けは、天と地を造られた神からきます。

アーメン。

あいさつ

主イエス・キリストの恵みと、神の愛と、聖霊の交わりが、あなたがたとともにありますように。

そして、また、あなたとともにありますように。

アーメン。

讃美歌 226-1節 (輝く日を仰ぐとき)

罪の告白 (声を張り上げないで共に祈ります)

父なる神さま、あなたが天に召された方々を覚えて礼拝を献げています。召天者がそれぞれのあり方で私たちを愛してくださったこと、この教会を支え守ってくださったこと、そして私たちに課題も託してくださったことを感謝します。残された者が、あなたと天への信仰を持って、先に召された方々のことを想うことができますように。どうか私たちも洗い清め、み国の世継ぎとして下さい。

癒しと介護を必要とおられる方々、その介護と看病に当たっておられる方々、その働きを支え守るために働いておられる方々を祝して下さい。どうか、このコロナ禍に苦しむ世界にあなたのみことの癒しの道を示して下さいますように。

「人は永遠に生きようか。

墓穴を見ずにすむであろうか。

しかし、神はわたしの魂を贖(あがな)い

陰府(よみ)の手から取り上げてくださる。」

(詩編 49:10、16)

*しばらく黙禱の時をもちます

主よ、私たちの心と体をとらえ、生き返らせ、喜びで満たして下さい。御名によって祈ります。アーメン。

本日の集会 礼拝前：・求道者会、・聖歌隊練習
礼拝後：・墓前礼拝、・納骨式

讃美歌 32 (キリエ) = 座ったままで

赦しの確認と保証 (司式者のみ)

主の赦しと慰めの言葉をお聞きください。

*司式者がローマ書5章6～9節を朗読します。

アーメン。

聖歌隊による讃美 「あなたの道を」(21-528)

《神のみ言葉の宣教》

聖書

エゼキエル書 22章27～31節 (旧p1330～1331)

これは神の言葉です。

神に感謝します。

マタイによる福音書 5章1～12節 (新p6)

これはキリストの福音です

主なるキリストを賛美します。

み言葉を求める祈り (司式者)

讃美歌 385-1, 2節 (花彩る春を)

説教

『召天者記念礼拝 — 破れ口に立つ者たち』
祝福の祈り 武田真治 牧師

《神への応答》

讃美歌 385-3, 4節 (花彩る春を)

召天者を覚えて、朗読と祈り (牧師)

献金 奉仕者：岩井あ、岩井真

とりなしの祈り (司式者)

主の祈り 93-5 (ともに祈りましょう)

報告

讃美歌 91-1節 (神の恵みゆたかに受け)

祝祷

武田真治 牧師

後奏

報告と退場

受付：松田 森本 礼拝：岩井長老
お茶の会 当分の間休会です。

＜先週の説教から＞

『詩編⑪ 鳥のように逃げろ』

詩編 11:1～7 マタイ福音書 26:36～46

詩編は祈りだけではありません。礼拝で用いられた典礼歌等もあります。この詩編も祈りではありません。それは1節「主を、わたしは避けどころとしている。」という言葉に良く表れています。

実は《信仰の告白》です。当時から礼拝に欠かせないものとして《信仰告白》が存在していたのでした。今は、コロナ禍で、私たちも礼拝でニケア信条を共に告白できません。一日も早く告白できるように祈ります。それでこそ礼拝だからです。

ただ、そのような信仰者に、世の周囲の人々は「鳥のように山に逃れよ。世の秩序が覆っているのに、主に従う人に何ができようか。」と批判を込めて言って来ると言われています。厳しい現実の中で、自らの信仰を貫こうとすることは難しい、山奥や人里離れた場所で住む方がいいのではないと言われるのだと。確かに清い生き方を保つためなら修道院に入る方がよいかもしれません。

しかし、この詩編の信仰者は「主は聖なる宮(=天)にいます。御目は人の子らを見渡し」と語っています。どこにいても神様は見えてくださると。そして「主は、恵みの業を愛し、御顔を心のまっすぐな人に向けてくださる。」と改めて信仰を告白しています。逃げないで、今の生活の中で主を信じて生き抜くことこそ重要であると語るのです。この世で生きて行くために「わたしの魂」の「避けどころ」が神様のそば(=礼拝)なのだ。それはイエス様のゲッセマネの祈りに通じます。祈られた後には、裏切者のユダが近付いて来ても、逃げないで立ち向かわれて行かれたように！